

3-3 授業科目一覧・補足資料

(8) 札幌市立大学人材育成教育プログラム（通称「G×Dプロジェクト」）について

2024年度（編入学生は2026年度）以降入学生用

札幌市立大学デザイン学部では、高度で多様な社会の要請に応える専門的な人材を育成することを目的に、以下の2つの人材育成プログラムを実施しています。なお、このプログラムは2024年度入学生より適用されます。

1・プログラムの目標

①環境共生型人材育成教育プログラム(以下、(G)と表す)

地域の自然環境に配慮したデザイン、持続可能なシステムの開発・運用などに関する専門知識や技術を修得し、市民・企業・研究機関・自治体の活動との連携によって、次世代に求められる環境共生社会のリーダーを担う人材を育成する。

②イノベーション人材育成教育プログラム(以下、(D)と表す)

社会が常に大きく変化し、産業・技術革新が世界的に進み、競争が激化している現代において企業が成長を維持したり、社会問題を解決したりするためにはイノベーションの推進が不可欠であり、それに必要なプログラムを開発し人材を育成する。

2・プログラムの概要

別表1に示す科目群の全科目を履修し、単位を取得することで、以下のように段階的にマイスター認定を行います。

- ・ブロンズ：基本レベル 各々のプログラムに対して興味を持ち、プログラムに関する基礎的な知識や技術を身につけた場合に認定します。
- ・シルバー：応用レベル 各々のプログラムに対して興味を持ち、プログラムに関する発展的な知識や技術を身につけた場合に認定します。ブロンズマイスターを取得していることが条件です。
- ・ゴールド：実践レベル 卒業研究等の授業科目において、(G)または(D)に関連する実践的な活動を行った場合に認定します。シルバーマイスターを取得していることが条件です。

別表1 各プログラムの科目構成

(G) 環境共生型人材育成教育プログラム

マイスター		授業科目
シルバー	ブロンズ	札幌を学ぶ①、自然科学A（科学史）①、デザイン工学①、自然科学C（動物の生態）①、自然科学B（環境）② ^[注2] 、エコロジカルデザイン②
	シルバー	環境計画論②、環境芸術論②、ランドスケープアーキテクチャ③、建築設備計画③、寒冷地デザイン論③
ゴールド		卒業研究I・II④†

(D) イノベーション人材育成教育プログラム

マイスター		授業科目
シルバー	ブロンズ	情報リテラシーI①、デザインと数学①、現代社会論E（情報科学）①、プログラミングI②、情報社会論②
	シルバー	プログラミングII②、感性情報学③、プログラミングIII③、ビジュアルライゼーションII③、統計の世界③
ゴールド		卒業研究I・II④†

注1)丸付数字は授業開講学年を表しています。

注2)自然科学B(環境)は2026年度入学生からは「自然科学B(環境と暮らし)」に名称変更します。

†学会発表(所定の条件を満たす場合)でも認定する場合があります。

3・マイスターの申請条件

- ・ブロンズ：別表1に記載した授業科目の単位を取得すること(ただし再試験での取得を除く)
- ・シルバー：別表1に記載した授業科目の単位を評価B以上で取得すること
- ・ゴールド：別表1に記載した授業科目(卒業研究Ⅰ・卒業研究Ⅱ)の単位を評価A以上で取得すること、または(G)または(D)に関連し、実践的×主体的な内容を含む学会発表を行うこと(ただし、筆頭者/発表者であること。なお、学会の開催地規模・査読有無は問わないものとします)

4・マイスターの申請方法

ブロンズマイスターは最短で2年修了時、シルバーマイスターは最短で3年修了時、ゴールドマイスターは卒業時に別途案内する方法で申請する必要があります。

5・マイスターの認定

ブロンズ・シルバーマイスターについては、別途案内する期間内に、学生自ら申請を行ってください。また、ゴールドマイスターについては、卒業研究等の指導教員を通じて申請してください。デザイン学部教務委員会にて審議し、学部教授会にて認定します。

ゴールドマイスターは卒業式当日、ブロンズ・シルバーマイスターについては新年度に表彰します。